

日本共産党区議會議員



こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
足立区役所 電話3880-5111(内線4650~4654)
日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

若者たちが 住みやすい街へ



日本共産党が提案

青年に家賃補助、学生に駐輪場代の支援を

家賃補助
ヨーロッパでは広く行なわれている
民間駐輪場
学生に補助し区営と同じ料金で



「足立区に住みたい」
「安心して学びたい」
を応援

足立区には4月から帝京科学大
学など大学がたくさんできて若者
がたくさん通うことになりました。
従来から住んでいる人も含めて、
「若者が住める足立区へ」「若者が



もうひとつは青年家賃補助です。月
1万円、年間12万円を助成し家賃負
担を軽減して、足立区に住みたい、足
立区に住みつづけたという青年を応

《家賃補助》 渋谷区で実施

区営駐輪場は学生が月ぎめ17
00円でこれ自体も高めですが民
間駐輪場は平均で3500円前後
になっています。この差額を補助
し支援するものです。

り、紹介いたします。
ひとつは民間の駐輪場に駐輪し
ている学生(高校生・大学生・専
門学校生)への駐輪代負担に補助
し軽減して、学校や大学に通う区
民を応援します。「収入がないの
に駐輪場代が高くて困っている」
という学校に通う若者からの声を
受け提案しました。

住みづづけたい足立区へ」日
本共産党足立区議団は三月の
議会で二つの提案を予算修正
案で提出しました。
自民、公明、民主、無党派
(逸見議員)の反対で否決さ
れましたが、重要な内容であ
り、紹介いたします。

援します。
渋谷区では
2010年度
から家賃補助
制度を十年ぶ
りに復活・充
實しました。

安全網の破壊
若者をおそう雇用・
いま住宅をめぐって二つの危機があ
らわれています。

「公的な家賃補助がな
いのは先進国では日本だ
け」
実は公的な家賃補助制度がないの
は経済先進国では日本だけ(研究者)
といわれ、アメリカでもヨーロッパで
も行なわれています。
スペインでは22歳~30歳の年収
273万円以下の若者は月2万600
0円ほどの家賃補助を、最大4年間受
けることが出来ます。
これによって若者の収入に占める家
賃費の割合は42%から24%に下が
り自立した生活が送れる(スペイン広
報担当者)そうです。

この男性は助成を申し込む予定です。
「いいところだから住みつづけたい」と
5万5000円と実に4割を占めます。
取りで月13~4万円に対して家賃が
渋谷区の23歳の男性は、給与が手
親 子育て世帯で、助成額は月3~5
万円です。

対象者は 単身者 夫婦またはひとり
親 子育て世帯で、助成額は月3~5
万円です。
制度を十年ぶ
りに復活・充
實しました。

ひとつは若者を中心にした雇用破壊
です。派遣労働の自由化をはじめ不安
定雇用の拡大で、住宅を失う人が増え
ていること。
もうひとつは人の営みの最低限の保
障である居住の確保というセーフティ
ネット(安全網)が崩壊していること
です。
総合的な住宅政策を構築し

日本共産党足立区議団は雇用の安定、
住宅の確保を含む総合的な住宅政策の
構築も提案しました。(伊藤 和彦)



生活相談・法律相談

お気軽にお電話をください。相談は無料。法律
相談は弁護士を紹介します

日本共産党区議団 3880 5770
伊藤和彦 自宅 3859 6952
携帯電話 070-6642 2851



存続する住戸の修繕がはじまった花畑団地

UR花畑団地「再生」の「まちづくり協議会設置」について
意見、要望が寄せられましたのでお知らせします。

「まちづくり協議会を設置」
したという伊藤さんのニュー
スを見ました。私は花畑団地
に住み続けたいと思っ
ているので住んでい
る人を探していること
は不満です。
URの花畑団地再生事業は
団地削減であり白紙撤回に
してもらいたい。
(男性から電話)

高齢者のために階下移転が
できるようにしてください。
高齢者のための施設や子育て
支援施設を計画に入れて若い
人たちを入居させてください。
空間を生かした環境にやさし
い団地にしてください。
(79歳・女性)



区立かしの木公園の 雨水の排水をよくして!



花畑2丁目のかしの木公園は雨が降ると水がたまり高齢者のグランドゴルフ、中学生のサッカーなどもできない状況です。排水溝設置など要望しました。区は「当面は土を入れ改善する」と回答がありました。

区は「土を入れて 改善をする」



高齢者や障害者が 安心して通れる旧道に

西保木間の住民にとって旧日光街道は、路線バスも通る大切な生活道路です。ところが歩道は狭く車椅子で通ることもできない状況です。車道側



に歩道を広げ、急な傾斜を改善するなど安心して買い物などできるようにしたい。

住民のみなさんが「歩道の整備を求める陳情」署名を行っています。ご協力をお願いします。

くわしくは伊藤和彦まで電話・3880-5770 控え室



都営住宅の申し込み

5月6日から14日まで 申し込み用紙は区民事務所

募集内容は定期使用住宅(若年ファミリー向き)620戸、(多子世帯向き)30戸、若年ファミリー向け 25戸など